

(様式2)

学校関係者評価報告書

(松山東高等学校通信制課程)

学校番号 (20)

評価実施日		令和8年2月20日(金)	
委員	氏名	所属等	備考
	渡部 勇二	松山市教育支援センターわかあゆ教室室長	
	桑名 初子	同窓会 会長	
	鎌田 辰美	同窓会 副会長	
	近藤 進	本校同窓生	
	永易 幸道	NHK学園高等学校同窓生	

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
1 学習指導・進路指導について ・学習進度表の送付や受講計画の丁寧な指導などの、細やかな指導が生徒や保護者に支持されている。松山東高校の通信制は私立高校と比べて厳しいという声もあるが、自立させる意味では正しいと思う。学習に対する先生方のまじめさを求めている生徒もいる。 ・高校卒業後の進学先や就職先で、すぐに辞める者が多いことが問題となっている。優しい環境で育ち、多様な価値観を持つ一方で、耐える力が弱く、早く見切りをつける学生が増えている印象がある。入学前説明会などでは、厳しい面も伝えることも必要である。 2 生徒指導について ・特別活動の充実を感じる。レポート指導、授業の充実により、生徒と信頼関係を築くことで、特別活動に参加しようとする気持ちを促し、良い循環ができている。 ・安全・安心な環境づくりについて、生徒・保護者からも評価されている。ただし、来校できない、アンケート等でも連絡が取れない生徒の中には悩みを抱えている者がいると思われる。 ・先生方が、生徒と話をするときには気を遣っていると感じることがある。もう少し踏み込んで話してもよいと思うこともあった。自分からは話しにくい、先生から声を掛けられるとうれしい生徒もいる。 ・わかあゆ教室の生徒が、生徒生活体験発表大会に参加し、その後、よい影響を受けている。自分を変える大きなきっかけとなったようだ。 ・サークル活動加入率の評価が低い。自分を変える機会として活動して欲しいが、強く勧めると断ることが難しい生徒も多い。場や機会の紹介に留め、サークルに入るかどうかは本人が決めることが大事である。 ・引きこもっていた子どもは、スポーツや調理に取り組むことが人と関わるきっかけとなる。長期的に見ると成長が分かる。生徒に伝えることで、生徒も自身の変化に気づくことが多い。	・生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、細やかな指導と温かい声掛けを継続する。 ・本校卒業後の追跡はしていないため、進学先や就職先の状況は把握していない。本校の教育活動を通して、自主・自律の精神に富んだ人間の育成に努める。 ・良い循環を保つことができるよう、引き続き、指導の充実を図る。 ・今後も様々な機会を捉えて、多くの生徒・保護者の声を拾う工夫をしていきたい。 ・感受性の強い生徒など、声掛けに配慮が必要な場面が多い。今後も、スクーリングでの挨拶等で反応を見ながら、個に応じた対応をする。 ・生徒生活体験発表大会への案内は、来年度も引き続き行う。 ・大会報告のほか、日々の活動の様子など、挑戦したい生徒の参加を誘起する情報をホームページや刊行物に掲載する。 ・人と触れ合う場の設定を大事にしている。自分にもできそうだと思う場の充実を図る。